

寺報

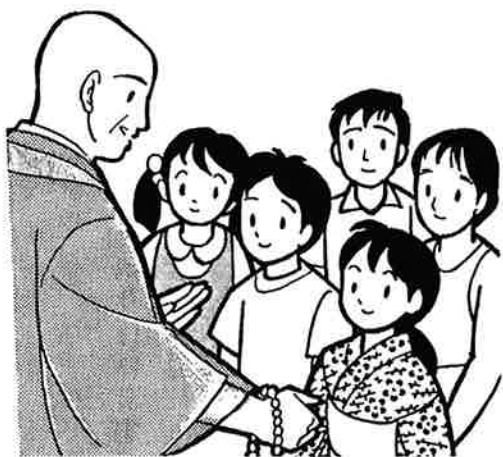
No.600

平成29年8月

蓮華寺
行

御聖訓

とす。
 仏道ぶつどうに入る根本こんぽんは、
 信しんをもて本もと
 『法華題目鈔ほっけだいもくしょう』



(解説)

皆様のお読みになります『お自我偈』の中に「一身に仏を見たてまつらんと欲して、自ら身命しんみんを惜しまず」というお言葉がありますが、これこそが仏道を一言で現わしたものとさええます。

つまり、我々が心を素直にして、仏様のみ教えにしたがい、それを実行していく事が仏道なのです。そしてまた、これが信仰というものなのです。

皆様も意味は理解出来ても、それを実行するという事は容易な事ではないでしょう。

でも、我々に信じる心があれば、自然と正しい行いが出来るようになるのです。

今月は『お盆』の月であり、また『施餓鬼供養会』も執り行われます。

日蓮大聖人は、御先祖様が救われてこそ、今日の我々の幸せがあると教えられています。

この時、我々がお塔婆を建てて供養する事は、亡くなられた方に宛てた最高のお便りとなり、また皆様

が今も元気に暮らしている証となるのです。どうか信を持って仏道に入つて欲しいと思います。

お盆の日程

当山では、次の日程でお盆行事を執り行います。

十二日(土)

午前十時半頃

※当山の永代供養塔・水子観音・動物供養塔・日蓮大聖人銅像・浄行菩薩等のご供養

十三日(日)

午前六時～午後四時迄

※三内霊園墓経【他の霊園には参りません】

※位牌堂【僧侶が位牌堂で読経します】

十四日(月)～十六日(水)

※旧市内の棚経 午前八時～一日中

【十三日～十六日迄は葬儀や法事、ご祈祷、霊断等は出来かねます】

十七日(木)～二十日(日)

※檀家よりご依頼のある新市内の棚経

【ご希望の方は、あらかじめご予約下さい】

二十一日(月)

※『施餓鬼供養会』 昼十二時半より

【お盆の最後の行事です、必ず参拝・お焼香下さい】

(注)詳細は事務所まで! ☎776-5840

お盆の棚経のお願い

毎年蓮華寺では、お盆の棚経(たなきょうしょうりょうだな)(精霊棚)に対してお経を上げるを八月の十四日より十六日まで青森の『旧市内』を回り、十七日より二十日までは、皆様からご依頼がありました『新市内』の檀家を回っております。しかし一週間の期間しかありませんので、数多くは回れないのが現状です。

特に最近では青森も住宅事情により、各家庭が新市内へと移動して行きました。

その点、十七日以降の棚経のご依頼が多くなってきています。

でも十七日からは、お盆中に去くなりました方々の葬儀等も行わなければならない状況から、多くの家庭は回れません。

そこで、当山では棚経を八月一日からでも回れるようにしております。

どうか、棚経をご希望の方は、お早目にお申込みの上、日時を決めて戴くようお願い致します。

施餓鬼供養会

八月二十一日(月) 昼十二時半より当山の年に

一度の『施餓鬼供養会』が行われます。

お施餓鬼には、皆様の先祖代々の諸精霊(しよしょうりょう)や新盆(にいぼん)に当ります仏様の供養はもちろんですが、特に普段から供養の行き届いていない精霊にも、お塔婆を上げて供養する事が大切です。

例えば、水子の霊・地主の霊・土地に縁する処の精霊・自分に頼る処の精霊・畜生類(ちくじょうるい)の霊などです。

特に『畜生類の霊』には、皆様が可愛がっていたペットや、日頃我々の身を養ってくれる牛・豚・鳥などの動物、お魚等の生き物の霊が上げられます。

皆様は、家族同様に愛情を注がれ、時に心をなごましてくれた愛犬や愛猫などのペットの霊、また我々の為に、その生命を犠牲にしてくれた生き物の霊、これ等への感謝も忘れてはいけません。

我々日蓮宗の檀信徒は、仏様の命を受け継ぐ総ての生き物を、法華経・お題目の力によって、救って上げなければいけない使命があります。

なお、それ以外の方は、例年通りの日時にお伺いする予定です。
また毎年お盆になりますと、檀家さんから「お経が短い」「棚経を忘れられた」とお叱りをよく受けます。
お盆は、限られた期間、限られた人数が、限られた時間で対応しなければなりませんので、お経が短くなります事をご理解戴き、何とぞご容赦願いたいと思えます。
他県のお坊さんが勘違いをしまして、まれに落とす場合があるかも知れませんが、その時はすぐにお寺にご連絡下されば善処致します。
また皆様も、お正月に求めて戴く『御守護札』を、玄関にしっかりと張っておいて下されば、はずす事はないと思えますので、どうかご協力をよろしくお願い致します。

お盆の追膳 (位牌堂・三階永代供養堂)

*十四日・十五日・十六日の三日間・・・千五百円
数に限りがありますので、お早目にお申込み下さい。(受付中)

その為に行われるこの塔婆供養は、特別な効果があるのです。

皆様も、ともすれば日常の生活に追われて、大切なご先祖・仏様の供養も、感謝の気持ちも忘れがちになると思います。

どうかその感謝の気持ちをお塔婆に表わし、心から報恩の誠を捧げようではありませんか。

そして自ら法要に参列し、共にお題目とお経を唱え、お焼香をして下さい。

*塔婆供養・・・一霊千円



『風車』の募集!

境内に安置しています『水子観音』専用の「風車」をご供養の為に上げして下さい。

価格は一体七百円で、葉の部分に名前などを書き入れる事が出来ますので、ご希望の方は事務所までお申し付け下さい。



水着にも必ずお守りを!

せっかくの楽しい夏休みも子供さん、お孫さん達に事故があつては大変です。

特にお守りを身に着けられない、海やプールは危険で何が起るか分かりません。

ご家族の方が工夫して、お守りを濡れないようにラップなどに包み、水着のポケットに着けて下さい。

また、水着にポケットがない場合は、水着に簡単な袋などを作ったりして、必ずお守りを着けさせるようにして下さい。

水着用に、お守りを一枚別に用意しておくとも便利だと思います。



④「お守りを持っていても、子供が中々身に着けてくれない」とよくお話を聞きますが、無理に首に下げさせなくてもよいですから、工夫してポケットや肌着などに着けてもらい、決して身体より離さない事だけのご指導して下さい。

蓮華寺聖徒団

定時総会開催さる!

去る六月二十五日(日)、蓮華寺聖徒団の平成二十九年年度の定時総会(第五十九回)が、沢山のご参加を戴き、碓ヶ関にあります『法華寺』を会場に開催されました。

今回二回目の参拝でしたが、非常に暖かく歓迎して戴き、皆心から感激していました。

御住職の『横山秀悠』上人による法味言上とお寺の縁起等のお話をして戴いた後、総会へと入りました。

総会では『角田堯淳』団長上人のご挨拶、各役員の紹介、会計監査報告、収支決算の承認が行われました。

そして、みんなで最近減りつつある聖徒団の会員を増やし、まだお守り(霊神符)を持っていない方にも勧める事も大事であるが、その為にはまず【霊断】をみてもらう事が必要なのではないかと決議されました。

その後、会場を秋田県の「湯瀬ホテル」に移しまして昼食・温泉またカラオケなどを楽しみ、大変有意義な一日を過ごす事が出来ました。

聖徒団会員の募集

会費・・・年額二、四〇〇円(月二百円)

会員の特典としましては、毎月ついたちの「盛運祈願会」の中で、住職上人が各会員の『家内安全』をご祈願致します。

更に『定時総会』等のお知らせ、また総会の懇親会の援助に使わせてもらっています。

その他、大本堂御寶前のお花・皆様にお配りする新聞【聖徒タイムズ】・寺報等の一部など、会発展の為にさまざまな面で会費を活用させて戴いておりますので、どうかご理解とご協力をよろしくお願い致します。

詳しくは、蓮華寺「事務所」前に、聖徒団の『平成二十八年年度の収支決算書』『平成二十九年年度の収支予算書』を用意してありますのでご参考にして下さい。

なお、三年以上会費を滞納しました会員は、自動的に退会となりますのでご了承下さい。
今後、蓮華寺聖徒団は新会員をどしどし募集しておりますので、出来れば毎月ついたちの日に事務所にお申込み下さい。

青森蓮華寺聖徒団役員

団長 角田 堯淳

総務部長 齊藤 豊 会計部長 白取つじ子
 布教部長 杉淵 昌三 会 計 齊藤 慶成
 庶務部長 関 義蔵 書 記 角田喜代美
 婦人部長 三浦ナツコ 監 事 小野 豊秀



どうぞ今年度もよろしくお願い致します！

☆ 霊断

檀信徒の皆様で、日頃から何か困り事や悩み事がありましたら、迷わずに蓮華寺までご相談下さい。日蓮宗に伝わる秘法『霊断』にて当山僧侶が解決、ご指導致します。

なお、宗旨宗派は問いませんし、秘密厳守です。

【相談料は原則、一件三千元となります】
 (注)僧侶の指名や、またスケジュールの関係上、必ず御予約下さい。
 ☎776-5840

『位牌壇』募集中！

★お寺に『位牌壇』がありますと、毎朝必ずお題目が唱え続けられていきますので、皆様の御先祖や仏様が今後代々に渡り護られていきます。

★仏様の御命日に当たる時に、旅行や諸用などで不在でも、ご予約戴ければ、『位牌壇』の前に追膳をお上げしますし、またお経も唱えさせて戴きます。

★特に青森では冬期間、お墓参りが出来ませんので、『位牌壇』がありますと、常にお参りが出来ます。

★やむなくご親戚やご友人に譲渡する場合も、お寺にご連絡下さい。

★分割は三年間の内に、回数(最長三十六回)はご相談下さい。

お知らせ

(注)八月二日(水)～六日(日)の『ねぶた祭』期間中は、交通規制の関係で、お寺は午後四時に閉門しますので、ご了承下さい。

八月の行事

一 日(火) 盛運祈願会 午後一時より

- ・ 毎月のお守り【霊神符】の交換の日です。
- ・ お勤めに参拝し、お題目とお経を唱えましょう。
- ・ 聖典(お経本)と数珠は必ずご持参下さい。
- ・ 蓮華寺檀信徒の方は必ずお守りを持ちましょう。



五 日(土) 甲子【大黒様の日】 朝のお勤め中

十 日(木) 日蓮大聖人のご命日 午後一時より

- ・ お経 如来神力品第二十一(訓読・日本語読み)
 - ・ 如来寿量品第十六(真読・漢字読み)
 - ・ お勤めに参拝し、お題目とお経を唱えましょう。
- ⑧八月はお盆の為、十日の日にご回向しますので、お間違いのないようにご参拝下さい。

十三日(日)～二十日(日)

『お盆』・『寺報』の2頁を参照して下さい。

二十一日(月)『施餓鬼供養会』 昼十二時半より

☆奉仕のお知らせ

お盆の追膳

⑧『お盆の追膳』のお手伝いは、朝
 十四日(月)【午前六時～八時頃】夕【午後三時～五時頃】です。お手伝い出
 来ます方はどなた様でも結構です
 ので、時間迄お集まり下さい。

十八日(金) 施餓鬼供養会の準備

・ 男女共・午前十時半より

二十一日(月) 施餓鬼供養会のお手伝いと後片付け

・ 男女共・午前十時より

*お施餓鬼は、先祖供養の為の精霊棚や流し供養の船の準備、また塔婆供養の仕度などがあります。

奉仕部長・山田兼補 伝道部長・小野正春
 教宣部長・杉淵昌三

『提灯』の募集！

「御会式」「お正月」「鬼子母神大祭」に下げます『提灯』(トロー)を限定一個募集致します。

作成価格は八千円、年間の管理費が二千円です。

せ が き く よう え 施 餓 鬼 供 養 会

八月二十一日 (月)

昼十二時半より



(追善塔婆供養)

- * お塔婆のお申込みは各霊一霊につき千円です。
- * 新盆の仏様は必ずご供養してあげましょう。
- * 当日はおいそがしくとも、法要に参列し、お焼香し一緒にお経・お題目を唱えるようにしましょう。
- * お経は

◎如来寿量品第十六・真読 (漢字読み)

◎提婆達多品第十二・訓読 (日本語読み)

中ごろ「大智徳勇健にして～」を読みます